

## 関口 信一郎氏が日本港湾協会企画賞を受賞しました

寒地港湾空港技術研究センター

当センター特別調査役の関口信一郎氏が「日本港湾協会企画賞」を受賞しました。

日本港湾協会企画賞は、「港湾に関する映像、著作、イベント等において、その企画表現が特に優れたもので、港湾の啓蒙、整備促進への貢献等が顕著であった個人又は団体」を顕彰するものです。

関口信一郎氏は書籍「世界港湾史～世界の港と水運ネットワークの発展史」を発刊したもので、本書は、古代メソポタミアから20世紀中期までの時間軸で、その主要な舞台となった港に焦点をあて、世界における海上交通の発展を俯瞰的に描いた世界港湾史であり、我が国の土木技術の貢献の視点でも整理されています。

特に、古代メソポタミアから人類の経済活動を支え

てきた海上交通の拠点となる港湾について、地形、気象海象や社会活動などの異なる条件のもとで、いかなる経営戦略により発展したかが記述されています。また、我が国の港湾の近代化を先導した廣井勇博士の直弟子である岡崎文吉、内田富吉、青山士の業績を取り上げ、世界の海上交通や港湾の発展に貢献したことをつまびらかにした書籍であります。

今後の我が国の港湾政策を考える上で、非常に有益なものとなっており、我が国の土木技術が世界の海上交通や港湾の発展に貢献したことを知ることができ、現在の港湾技術の更なる理解に繋がる書籍であります。

表彰式は、5月29日(水)に広島県福山市で開催された日本港湾協会の総会において行われました。

